

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性がございます。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

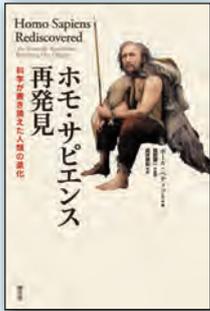
コーナー：自然科学

受注締切：10月25日／搬入予定：11月8日

生物学

ホモ・サピエンス再発見

科学が書き換えた人類の進化



ポール・ペティット著／篠田謙一監訳／武井摩利訳／本体4,800円

ISBN 978-4-422-43060-7 C1045

本書は、ホモ・サピエンスが他の絶滅したヒト科の動物とどのように異なるのか、科学者がどのように定義するのかを探り、特に遺伝学の進歩が人類の進化の理解にどのように影響を与えたかを説明する。著者は25年の経験をもとに、人類がアフリカから世界各地に広がり、気候変動に適応し、芸術や技術の革新をもたらした過程を洞窟や岩屋の調査を通じて紹介し、考古学的証拠を使って古代の生活を探る。

著者略歴

ポール・ペティット……ダラム大学の旧石器考古学教授で、ヨーロッパ中・後期旧石器時代が専門。特に芸術の起源と死者に対する処置の発展に関心を持ち、ヨーロッパ各地をはじめ世界各地でフィールドワークを行っている。

篠田 謙一（シノダケンイチ）……分子人類学者、国立科学博物館館長。1955年生まれ。京都大学理学部卒業。博士（医学）。産業医科大学助手、佐賀医科大学助教授を経て、国立科学博物館人類研究部勤務。2021年より同館の館長を務める。著書に『人類の起源』（新書大賞2023第2位）、『江戸の骨は語る』（科学ジャーナリスト賞2019）、『DNAで語る日本人起源論』、『新版 日本人になった祖先たち』など多数。

条件：新刊委託
A5変／上製／予368頁

ページ見本



*ページ見本は制作中につき、変更の可能性がございます。

既刊

恐竜研究の最前線
本体4,200円 978-4-422-43040-9



注冊冊数

冊

コーナー：自然科学

受注締切：10月29日／搬入予定：11月13日

植物

アルケミスト双書

イギリスの美しい野の花

名前の由来と伝承



ジェラルド・ポンティング著／山田美明訳／本体1,500円

ISBN 978-4-422-21555-6 C0345

植物には学名と地域名があり、シロツメクサの学名は *Trifolium repens*、英語名はホワイタクローバーで、シェイクスピアは「ハニーストクス（蜜蜂の茎）」と記述。野草の英語名の起源には古英語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ラテン語、聖書や伝説、薬効などがある。この本では、それらの命名背景や英国人の想像力を探ると共に、古い植物誌の美しい図版を紹介する。

著者略歴

ジェラルド・ポンティング……イングランド中南部を拠点とする作家、写真家。自然史を学ぶ一方、1974年ごろからスコットランドのルイス島に住み、カラニッシュ遺跡のストーン・サークルを研究した。シェイクスピアの戯曲に登場する花々を紹介した『Shakespeare's Fantastic Garlands』、イギリス南部ニューフォレストの森や牧草地のガイドブック『Visitors Guide to the New Forest』など著書多数。

山田 美明（ヤマダヨシアキ）……英語・フランス語翻訳家。訳書に『プロポーション』『ハーモノグラフ』『優美な織物の物語』『太陽系の美しいハーモニー』『音楽の美しい宇宙』『ケルト紋様の幾何学』『美しい曲線の幾何学模様』（いずれも創元社アルケミスト双書）、『批評の「風景」』（草思社）、『文学の美効』（CCCメディアハウス）、『ゴッホの耳』（早川書房）などがある。

条件：新刊委託
B6変／上製／66頁

既刊

※「アルケミスト双書」シリーズ好評発売中。同封の注文書で在庫のご確認をお願いします。

最新既刊

賢者がみちびく占いのすべて
本体1,200円 978-4-422-21544-0

折り紙と数学
本体1,200円 978-4-422-21551-8

「音」の秘密
本体1,200円 978-4-422-21552-5

物語のかたり方入門
本体1,500円 978-4-422-21553-2

プロポーション
本体1,500円 978-4-422-21554-9



注冊冊数

冊

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性があります。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

コーナー：芸術
ビジュアルブック

写真絵本シリーズ「はたらく」

受注締切：10月25日／搬入予定：11月8日

はたらく製本所



条件：新刊委託
B5変／上製／28頁

吉田亮人写真／矢萩多聞文／本体2,200円

ISBN 978-4-422-70193-6 C0372

埼玉県にある製本所「松岳社」ではたらく笠井瑠美子さんの一日。紙を折る人、切る人、あわせる人、綴る人、運ぶ人……製本工場はおおきないきものみたい。『広辞苑』から『はてしない物語』まで数多くの本をつくってきた製本所の静かなドラマ。「はたらく」って、なんだろう？ 朝から晩まで、ひとつの職業の人にはりついて、その仕事や暮らしぶりを見つめてみた。大人と子どもがともに読みながら「はたらく」ことの意味を考えるあたらしい写真絵本シリーズ（総ルビ）。

注冊数

冊

コーナー：芸術
ビジュアルブック

写真絵本シリーズ「はたらく」

受注締切：10月25日／搬入予定：11月8日

はたらく図書館



条件：新刊委託
B5変／上製／28頁

吉田亮人写真／矢萩多聞文／本体2,200円

ISBN 978-4-422-70194-3 C0372

奈良の図書館「奈良県立図書情報館」。図書館の仕事ってのんびりしてそう、と思ったらおおまちがい。書庫から本を取り出して、返ってこない本をさいそくして壊れた本を直すこともある。司書は毎日大忙し、いきつくひまありません。図書館の知られざる裏側を覗きます。「はたらく」って、なんだろう？ 朝から晩まで、ひとつの職業の人にはりついて、その仕事や暮らしぶりを見つめてみた。大人と子どもがともに読みながら「はたらく」ことの意味を考えるあたらしい写真絵本シリーズ（総ルビ）。

注冊数

冊

著者略歴

吉田 亮人（ヨシダアキヒト）……1980年宮崎県生まれ。京都市在住。滋賀大学教育学部卒業後、タイで日本語教師として1年間勤務。帰国後小学校教員として6年間勤務し退職。2010年より写真家として活動開始。2023年に写真集出版社「Three Books」を設立し共同代表を務める。著書『Brick Yard』（私家版）、『The Absence of Two』（青幻舎・Editions Xavier Barral）、『しゃにむに写真家』（亜紀書房）など。第47回木村伊兵衛賞2023最終候補、日経ナショナルジオグラフィック写真賞2015・ピープル部門最優秀賞、コニカミノルタ・フォトプレミオ年度大賞など受賞多数。

矢萩 多聞（ヤハギタモン）……画家・装丁家。1980年横浜生まれ。9歳から毎年インド・ネパールを旅する。中学1年で学校を辞め、ペンによる細密画を描きはじめる。南インドと日本を半年ごとに往復し暮らし個展を開催。2002年から本づくりにかかわるようになり、これまでに600冊を超える本の装丁をてがける。2012年、京都に移住。現在は本業のほか、Webラジオ、リトルプレス、ワークショップなど、本とその周辺を愉快地にすべく活動中。著書『本とはたらく』（河出書房新社）、『美しいってなんだろう？』（世界思想社）、『本の縁側』（春風社）など。

シリーズのことは

「将来、なにになりたい？」大人は子どもになにげなく質問します。答えはさまざま、時代のうつかりわりとともに人気の職業があるようです。しかし、サッカー選手でも花屋でも、おなじ職業だからといって、おなじようにはたらき暮らしている人はいません。ぼくらの生活は、だれかの仕事のおかげで成り立っているはずなのに、彼らが日々なにを思い、どんなふうにくらしているのかはあまり知りません。夜道で足をとめて星空を見上げるように、目の前を通りすぎるいろんな「はたらく」を見つめたい。大人も子どももおなじ地平に立つて、はたらくってなんだろう、と考えてみる。そんなふうにして、このシリーズをつくりたいとおもいます。

既刊
刊行予定

- はたらく本屋 本体2,200円 978-4-422-70191-2
- はたらく中華料理店 本体2,200円 978-4-422-70192-9
- はたらく動物病院 (2025年2月刊行予定)
- はたらく庭師 (2025年2月刊行予定)

ページ見本



※本シリーズ(1~4巻)は、リトルプレスの出版レーベルAmbooksから刊行されていたリソグラフ版をもとにオフセット印刷で大判にして新装刊行するものです。

推薦の言葉

ミロコマチコ（絵本作家）

この世界は、みんなの一日、一日でできている。履いている靴も、休憩時間に食べるごはんも、お昼寝するときを使う枕も。たくさん人の「はたらく」とともに暮らしている。わたしの「はたらく」もきっとだれかにつながってる。嬉しくなって、ああ、明日もはたらこうって思う。

鳥羽和久（教育者）

生きることは社会とつながること。そして社会とつながることは、はたらく人とつながることだ。つながる人とは気持ちいい関係でいたい。そのためには、たがいにすすがしい仕事が見たい。この本には、はたらくことのすすがしが詰まっています。生きようにはたらくことをほくたちに教えてくれる。

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪府中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性があります。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

コーナー：社会

受注締切：10月29日／搬入予定：11月13日

〈在日〉という根拠 増補新版

竹田青嗣著／本体予価2,800円

ISBN 978-4-422-36019-5 C0036

どんな物語からも拒否され続けた。不遇の意識からの回復不能を生きる——在日朝鮮人作家・李恢成、金石範、金鶴泳の文学をとおして「生の感触」を書き表わす、在日韓国人二世であり哲学者・文芸評論家である竹田青嗣の初著作を、約30年ぶりに〈増補復刊〉。今まさに読まれるべき、在日論の普遍的傑作。書き下ろし：自伝的あとがき(14,000字)

著者略歴

竹田 青嗣(タケダセイジ)……1947年大阪生まれ。在日韓国人二世。哲学者、文芸評論家。早稲田大学政治経済学部卒業。明治学院大学国際学部教授、早稲田大学国際教養学部教授などを経て、現在、早稲田大学名誉教授、大学院大学至善館名誉教授。著書に『現象学入門』(NHKブックス)、『自分を知るための哲学入門』(ちくま学芸文庫)、『中学生からの哲学「超」入門』(ちくまプリマー新書)、『ニーチェ入門』(ちくま新書)、『哲学は資本主義を変えられるか』(角川ソフィア文庫)、『人間的自由の条件』(講談社学術文庫)、『超解読! はじめてのヘーゲル「精神現象学」』(西研との共著、講談社現代新書)、『超解読! はじめてのカント「純粋理性批判」』(講談社現代新書)、『欲望論』1・2(講談社)などがある。

解説より

ここには竹田青嗣の「在日」をめぐる考えの結晶がほぼすべて、おさめられている。
——加藤典洋(本書解説より)

注冊数

冊



条件：新刊委託
四六／並製／予384頁

コーナー：歴史

世界史

叢書パルマコン・ミクロス09

受注締切：10月29日／搬入予定：11月13日

インドの八月十五日

帝国の儀式と記念日から見たインド近現代史

本田毅彦著／本体予価3,000円

ISBN978-4-422-70179-0 C0022

現代インドの国の祝日である、イギリスからの「独立記念日」がなぜ、日本の終戦記念日と同じ8月15日なのか。インド社会の忠誠儀礼であるダーバー(ダルバール)を巧みに援用した、イギリスによる「インベリアル・ダーバー」の歴史を紐解きながら、最後のインド副王兼総督マウントバッテン卿による、1947年8月15日をメディア・イベント化した英領インド帝国の幕引きまでの流れを追うインド近現代史。図版・地図多数収録。

著者略歴

本田 毅彦(ホンダタケヒコ)……1961年、愛知県生。オックスフォード大学よりD. Phil. (Modern History)を取得。京都女子大学文学部教授。[主要著作]『イギリス君主制のメディア化とロイヤル・ソープ・オペラ』(『メディア史研究』53号、2023年)、『「イギリス国王=インド皇帝」のソフト・パワー構築プロセス』(『ソフト・パワーのメディア文化政策—国際発信力を求めて』佐藤卓己・渡辺靖・柴内康文編集、新曜社、2012年)、『インド植民地官僚—大英帝国の超エリートたち』(講談社、2001年)など。

既刊

※「叢書パルマコン」「叢書パルマコン・ミクロス」シリーズ好評発売中。同封の注文書で在庫のご確認をお願いします。

注冊数

冊

条件：新刊委託
四六／並製／予384頁

コーナー：歴史

日本史、現代史

近代日本メディア議員列伝・8巻

受注締切：10月25日／搬入予定：11月8日

石山賢吉の決算

ダイヤモンドの政治はあるか

佐藤彰宣著／本体予価2,700円

ISBN 978-4-422-30108-2 C0336

石山賢吉(1882～1964)は新潟から上京して経済雑誌『ダイヤモンド』を1913年に創刊、一代で現在に至るダイヤモンド社を築いた出版人である。1937年の東京市会議員当選を機に政治の世界に足を踏み入れ、1947年に芦田均の民主党から衆議院議員となるが、同年公職追放。戦時下から敗戦後にかけていつの間にか政治と関わるようになっていく経緯から、メディア議員が社会のなかで生み出される回路を描き出す。

著者略歴

佐藤 彰宣(サトウアキノブ)……1989年兵庫県神戸市生まれ。2017年立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。立命館大学産業社会学部授業担当講師、東亜大学人間科学部講師などを経て、現在、流通科学大学人間社会学部准教授。専門は文化社会学、メディア史。著書に『スポーツ雑誌のメディア史』(勉誠出版)、『〈趣味〉としての戦争』(創元社)、共著に『「知覧」の誕生』(柏書房)、『趣味とジェンダー』(青弓社)、『近頃なぜか岡本喜八』(みずき書林)など。

既刊

※「近代日本メディア議員列伝」シリーズ好評発売中。同封の注文書で在庫のご確認をお願いします。

注冊数

冊



条件：新刊委託
四六／上製／予400頁

*書影は既刊のものです。

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性があります。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

コーナー：教育

親子

〈子どものやる気を育てる〉シリーズ

受注締切：10月29日／搬入予定：11月13日

親子でいっしょに楽しむ シュタイナーの手仕事

土田亜紀著／本体予価1,600円

ISBN 978-4-422-12081-2 C0037

〈子どものやる気を育てる〉シリーズの第2弾。シュタイナーの手仕事は、自然素材を用いた物作りで生きる力をつけます。本書は、たくさんの手仕事ができるように、見開き1テーマで展開。左頁に解説、右頁にイラスト満載でやり方を紹介しています。お子さんと一緒に、自然で楽しむ方法、お絵描きや染め物などの芸術、料理、部屋のしつらえなどに挑戦できます。二次元コードを読み取れば、カラーのイラストによる説明が見られます。



条件：新刊委託 A5／並製／予160頁

著者略歴

土田 亜紀 (ツチダアキ) ……

シュタイナーにヒントをもらう 0-3歳おやこクラス「星とたんぼぼ」主宰

東京都生まれ。女子美術大学付属高校より桑沢デザイン研究所、セツ・モードセミナーを経て、イラストレーターに。エッセイ、広告、新聞連載、書籍などを手掛ける。調理師として自然食レストラン勤務、オーガニック・カフェのメニュー開発にも携わる。2児の子育てを通じ、シュタイナー教育に出会う。保育士として複数のシュタイナー幼稚園で助手を務めたのち、2011年～2020年まで三鷹市の一般社団法人ヴァルドルフの森・キンダーガルテンなのはな園未就園児クラス講師。2021年より藤野にて、0-3歳おやこクラス「星とたんぼぼ」開講。

ページ見本



* ページ見本は制作中につき、変更の可能性がございます。

既刊

島村華子の家庭教育シリーズ①

親子でできる
モンテッソーリ教育と
マインドフルネス

本体1,500円
978-4-422-12076-8



注文冊数

冊

コーナー：心理学

臨床心理学

カウンセリング

PCAGIP法の実践

対人援助職を支える新しいパラダイム

受注締切：10月29日／搬入予定：11月13日

村山正治、中田行重編著／本体予価2,700円

ISBN 978-4-422-11832-1 C3011

PCAGIP(ピカジップ)法とは、話題提供者がファシリテーターや参加者と共に新しい取り組みの方向や具体策のヒントを見出すグループ体験で、通常のスーパービジョンとは異なる事例検討法として注目されている。本書では対人援助の領域ごとにPCAGIP法がどう実践・展開されているのかを紹介する。また、その領域でなぜ用いているのかも併せて論じ、背後にある「人間観」や「人にかかわることの意味」も伝える。

著者略歴

村山 正治 (ムラヤマショウジ) ……1963年、京都大学大学院教育学研究科博士課程修了(教育学博士)。現在、東亜大学大学院臨床心理学専攻客員教授。九州大学名誉教授。臨床心理士。前学校臨床心理士ワーキンググループ代表。福岡人間関係研究会代表。著書に『ロジャースをめぐる』(単著、金剛出版)、『「自分らしさ」を認めるPCAグループ入門』(編著、創元社)、『スクールカウンセリングの新しいパラダイム』(単著、遠見書房)、『新しい事例検討法PCAGIP入門』(共編著、創元社)、『私のカウンセラー修行』(単著、誠信書房)、『どこへ行こうか、心理療法』(共著、創元社)、『パーソンセンタード・アプローチとオープンダイアログ』(共編、遠見書房)などがある。

中田 行重 (ナカタクキシゲ) ……1992年、九州大学大学院博士後期課程修了。現在、関西大学人間健康学部教授。博士(学術)。桂メンタルクリニック(京都)カウンセラー。臨床心理士。公認心理師。PCA-Kansai代表。著書・訳書に『問題意識性を目標とするファシリテーション』(単著、関西大学出版部)、『臨床現場におけるパーソン・センタード・セラピーの実務』(単著、創元社)、『新しい事例検討法PCAGIP入門』(共編著、創元社)、『地域実践心理学』(共著、ナカニシヤ出版)、『私とパーソンセンタード・アプローチ』(共著、新曜社)、『深い関係性(リレイショナル・デプス)』(共訳、創元社)などがある。

条件：新刊委託 A5／並製／予200頁

既刊

新しい事例検討法 PCAGIP入門 10刷
本体2,300円 978-4-422-11543-6

「自分らしさ」を認めるPCAグループ入門
本体2,500円 978-4-422-11570-2



注文冊数

冊